



3月10日、県庁講堂で手話を言語として位置づけ普及を目指す「手話言語条例」の制定に向け県が初めての検討会議を開きました。「手話言語条例」は耳が聞えない聞こえにくい人にとっても暮らしやすい社会にすることを目的に、多くの方々が手話を学ぶ機会を増やすことなどを定める条例で、すでに全国40都道府県で制定されています。この検討会には聴覚に障がいがある人らおよそ20人が参加し、条例のあり方について議論が交わされました。県障害者支援課畝本孝彦さんは「手話が言語であるという認識がまだまだ県民の皆さまへ普及していない。また、手話に限らず筆談でコミュニケーションを取るという状況を店や病院で整備してもらうなどを考えていかないといけない」などと言われています。県は今年11月に日本で初めて開催される世界の聞こえない聞こえにくい人たちのオリンピックで、世界の手話でコミュニケーションする東京2025デフリンピック開催と広島県手話言語条例(仮名)制定のコラボレーションを目指しています。

広島ホームテレビは、手話言語条例と情報コミュニケーション条例の制定についての検討委員会を広く広島県民の方々に知っていただくために取材をして放送をしました。

広島ホームテレビのホームページURL

https://www.home-tv.co.jp/news/content/?news_id=20250310295354

情報提供 広島ホームテレビ

広島県から東京デフリンピックに選手内定された卓球の伊藤優希君紹介



1998年1月生まれ 東広島市在住
 広島南特別支援学校高等部1年～3年で全国ろう学校卓球大会連続優勝
 2015年1月全国ろう者卓球選手権シングル優勝 同年10月アジア太平洋ろう者卓球競技大会団体銅メダル
 2024年9月全国ろうあ者体育大会群馬卓球競技団体優勝
 同年広島県スポーツ知事賞受賞

聞こえない聞こえにくいアスリートたちの世界大会

東京2025デフリンピック紹介

大会の概要

大会名称

第25回夏期デフリンピック競技大会

参加国 70～80カ国・地域

選手数 約3000人

コミュニケーションは国際手話言語

競技数 陸上 サッカー 水泳 卓球 柔道

その他全21競技

開催場所 東京体育館 駒沢オリンピック

公園総合運動場 その他